

6年 ボランティアし合おうよ

単元目標

ボランティアに対する筆者の思いや願いをもとに、ボランティアについての考えをすすんで深めようとする。 (関心・意欲・態度)

ボランティアに対する筆者の思いや願いや調べたことをもとに、自分の考えを的確に話すことができる。 (話すこと・聞くこと)

叙述に即して、ボランティアに対する筆者の考えや思いを読み取ることができる。 (読むこと)

単元について

本単元は、ボランティアを題材にした文章を読むことをとおして、生きるということの意味を考えたり、人間に対する認識を深めたりすることを意図して設定した単元である。

『ボランティアし合おうよ』には、書き手の考えだけではなく、人生を積極的に生きることをとおして得た、体験に基づく思いが述べられている。子供たちは、この文章を読むことによって障害のある人を身近に感じ、ボランティアの本当の意味について考えていくであろう。

この単元の学習にあたっては、ボランティアの意味を理解させることに加え、子供たちには、書き手の思いをしっかりと読み取らせ、中学校で体験するであろうさまざまなボランティア活動への心構えをもたせるとともに、いろいろな立場の人々が協力し合って生きていく「共生」の視点の大切さを実感させたい。

小学校卒業を目前にひかえ、社会的な事象に対する関心も高まってきているこの時期の子供たちが学習するのにふさわしい最終単元といえる。

本単元は、前半に書き手のボランティアに対する考えを読み取り、それをもとにボランティア活動について、図書資料やボランティア活動に取り組んでいる方々へのインタビューなどの調べる学習を展開する。そして、子供たちが調べて考えたことを話し合うパネルディスカッションを行うことにする。自分の考えを友達の前で発表したり、友達の考えについて質問したりすることをとおして、自分の生き方を表現し伝え合う力を育てていきたい。

本単元は、小学校卒業を目前にひかえ、社会的な事象に対する関心も高まってきているこの時期の子供たちが学習するのにふさわしい最終単元といえる。

学習指導計画

(「話すこと・聞くこと」4時間 「書くこと」3時間 「読むこと」3時間
計10時間扱い)

次	時	主となる学習目標	主な指導・支援のポイント
一	1	全文を読んで初発の感想を書くことができる。	初発の感想をもとに、ボランティアについて知っていることを話し合うようにする。
	2	全文を読んで、ボランティアに対する書き手の思いや願いを読み取ることができる。	ワークシートを使って、書き手の思いや願いを読み取ることができるようにする。
	3	読み取った書き手の思いや願いをもとに、ボランティアに対する自分の考えをスピーチ原稿に	ボランティアに対する自分の考えを1分間程度のスピーチ原稿

	4	<p>書くことができる。</p> <p>ボランティアに対する自分の考えをスピーチすることができる。</p>	<p>にまとめるようにする。</p> <p>自分の考えとの共通点やちがう点に注目して友達のスピーチを聞き取るように助言する。</p>
二	5 6	<p>身近なボランティア活動について調べる計画を立てることができる。</p> <p>身近なボランティア活動について調べることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課外 学校図書館や地域の図書館での調べ学習、地域でボランティア活動に取り組んでいる方々に対する取材などを行う。</p> </div> <p>取材をお願いする依頼状を書くことができる。</p>	<p>自分がやってみたいボランティア活動について調べるように助言する。</p> <p>必要に応じて、身の回りの地域でボランティア活動に取り組んでいる方々を紹介する。</p> <p>地域の図書館の団体貸し出し等を利用したり、市役所等の資料を取り寄せたりしておく。</p> <p>これまでの学習経験を生かして礼状を書くように助言したり、必要に応じて依頼状の例を提示したりする。</p>
	7 8	<p>書き手の思いや願い、自分が調べたことをもとに、どんなボランティアをしてみたいか、パネルディスカッションカードにメモすることができる。</p> <p>「ボランティアし合おうよ」をテーマとしてパネルディスカッションをすることができる。</p>	<p>パネルディスカッションカードに自分の考えを書き込んでいくときに、自分の考えを伝えるために必要な事柄や予想される質問に対する答えなどを端的にメモしていくように助言する。</p> <p>クラスをいくつかのグループに分けてパネルディスカッションを行うようにする。</p> <p>パネルディスカッションをした感想や友達の発言などをメモしておくようにする。</p>
三	9 10	<p>「ボランティアし合おうよ」というテーマで自分の考えを書くことができる。</p> <p>取材させてもらった方や施設に送る作文に添える礼状を書くことができる。</p>	<p>この単元の学習をとおして考えたことを原稿用紙2枚程度の作文にまとめさせるようにする。</p> <p>書き上げた作文を取材させてもらった方や施設などに、礼状を添えて送るようにする。</p>

本時の展開（7 / 10時間）

- ・目標 書き手の思いや願い、自分が調べたことをもとに、どんなボランティアをしてみたいか
パネルディスカッションカードにメモすることができる。

展開例

前時の主な学習活動 身近なボランティア活動について調べる。
取材をお願いする依頼状を書くことができる。

学習活動	形成的評価の観点と主な支援例
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の考えをパネルディスカッションカードにメモしよう</p> </div> <p>2 パネルディスカッションカードに自分の考えをメモする。</p> <p>3 次時の内容を確認する。</p>	<p>パネルディスカッションカードの書き方がわかっているか</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>書き方を具体的に説明したり、子供の考えを聞き出して書き方を例示したりする。</p> </div> <p>自分の考えを的確に書けているか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>十分に書けている子供 的確に書けていることを誉め、励ます。 必要に応じて、さらに深めるための観点を提示する。</p> <p>十分に書けていない子供 考えが明確になるように子供と対話する。 必要に応じて、教材文や図書資料などを再度見てみるように助言する。 予想される質問例を提示したりする。 質問に答える内容や答え方を例示する。</p> </div> <p>・書き終わった子供に対しては、発表の練習をするように助言する。</p>

次時の主な学習活動 パネルディスカッションをする。

「ボランティアしなむらじ」

パネルディスカッションカード

番

【自分がやりたいボランティア】

由
理

.....
.....
.....
.....

【予想される質問】

【質問への答え】

【予想される質問】

【質問への答え】

【予想される質問】

【質問への答え】